

地の塩としての弟子

シリーズ～弟子道～

2011/2/6

イエス様の弟子とは

- ❁ 私たちはイエス様の信者ではなく弟子である
 - ❁ 信者とは何かしてもらおうとしている人, 弟子とは何かしようとしている人
- ❁ どんな事からも学び, どんなところでもまね, どんな所へでも従っていく人
- ❁ 自分を捨て, 自分の十字架を背負い, イエス様に従っていく人
- ❁ 使命を帯びて遣わされている

地の塩としての弟子

「あなたがたは地の塩である。だが、塩に塩気がなくなれば、その塩は何によって塩味が付けられよう。もはや、何の役にも立たず、外に投げ捨てられ、人々に踏みつけられるだけである。」

＜マタイ福音書**5:13**＞

塩は価値ある物

- ❁ ローマ時代、兵士の給与は「塩」で支払われることもあった
 - ❁ サラリーの語源は“サラリウム”ラテン語で塩の意
 - ❁ イエス様の弟子はみな価値ある存在
- ❁ 塩に変わる調味料はない
 - ❁ イエス様の弟子に変わる人はいない
- ❁ 塩は人間の体に欠かせない
 - ❁ この世界にイエス様の弟子は欠かせない

塩の役割／味付け・保存

- ❁ 食べ物に塩が味を付けるように、主の弟子はこの世に良い影響を与える
 - ❁ 主の弟子が付ける味は、「愛、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔和、節制」など
- ❁ 塩が食物を腐敗から守り、保存するように、主の弟子はこの世を腐敗から守り、保つ
 - ❁ この世は罪の結果として悪い方向に向かう
 - ❁ 主の弟子は、キリストの正義と聖さによって、この世を腐敗から守らなければならない

塩気を失った塩

- ❁ 死海の沿岸では岩塩が採れたが、外見は同じでも塩味のないかたまりもあった
 - ❁ 「何の役にも立たず、外に投げ捨てられ…」
- ❁ 主の弟子も、「地の塩」の役割を果たさなければ、何の意味もない
- ❁ ただこの世に存在しているだけではイエス様の弟子とは言えない

地の塩としての主の弟子

- ❁ 塩気を失った主の弟子とは
 - ❁ 主の弟子の美德を持っていない
 - ❁ 主の弟子であることを隠している
 - ❁ 主の弟子以外とは関わろうとしない
- ❁ しかし、塩は塩であることを主張しない
 - ❁ 素材を美味しくする
- ❁ イエス様の弟子は、この世を「美味しくする人」である